

令和5年度 第4回 積志中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月26日（月）15時15分から16時35分まで
- 2 開催場所 積志中学校 会議室
- 3 出席委員 今宿 康一、上野 由紀夫、三輪 清、岡本 知之、林 和法、北 一樹、
鈴木 健司
- 4 欠席委員 太田 亮平、新村 佳子
- 5 オブザーバー 渥美 年弘（スポーツ施設利用運営委員会委員長）、内山 多紀子（民生児童委員）
- 6 学 校 森田 忠（校長）、永田 行央（教頭）、牧野 貴宏（主幹教諭）、
岩永 和也（教諭、生徒指導主事）、高林 昭寿（教諭、CS担当）、
北寒寺 知子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 北寒寺 知子

10 議長の選出

議長については、第1回目の会議で、本年度は年間を通して林委員に務めていただくことが決定していたため、林委員に進行をお願いした。

11 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 来年度の学校運営の基本方針について
- (3) 来年度の学校運営協議会の取組について
- (4) 今年度の学校運営協議会の自己評価

12 会議記録

司会から、委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達するため、会議が成立している旨の報告があった。会議開始の45分後に、岡本委員が会議に参加し、それ以降については委員7名で会議が行われた。

(1) 学校関係者評価

牧野教諭から今年度の学校評価アンケートの結果、分析結果、改善方策等についての説明があった。そして、岩永教諭から積志中学校のいじめ防止等のための基本的な方針、いじめ認知件数といじめ案件への対応状況についての説明があった。それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・生徒の評価が全体的に良いのはとても喜ばしいことだと思う。（林委員）
- ・1年、2年、3年の学年の傾向を知りたい。同じ集団が、進級とともにどのように変化しているのかがわかれば、よりよい分析ができるのではないか。（上野委員）
→アンケート調査の方法を変更すれば可能なので、次年度に向けて検討する。（牧野教諭）
- ・全ての保護者がアンケートに回答しているわけではない。回答している人は、学校に興味をもつ

ている人が多いので、良い評価につながるのではないかと。逆に、回答していない人がどのように感じているのかを知りたい。(北委員)

- ・ネガティブな回答に対しては自由記述欄にその理由を書いてもらうようにすると、そこに改善すべき事柄につながるキーワードが書かれていることが多いと思う。(北委員)
- ・地域の活動に参加している生徒の割合が少ないことが気になる。中学生が地域の大人と顔見知りになることは大切なことだと思う。中学生が地域に積極的にかかわれるようになるための手立てを考えていく必要があるだろう。(今宿委員)
- ・地域の活動に中学生が積極的に参加し、中学生と地域住民が互いの顔を知ったり、コミュニケーションをとったりする機会が生まれれば、それがいじめの防止や早期発見につながる可能性があるのではないかと。(今宿委員)

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、それに対して委員から以下の発言があった。

- ・校長からの丁寧な説明で内容も理解することができた。生徒や地域の実態にあった基本方針だと感じた。(上野委員)
- ・学校が少しずついい方向に進んでいるのを感じる。(鈴木委員)
- ・校長の掲げる学校スローガンは、学校の目指す方向性がよくわかると思う。(岡本委員)
- ・令和2年度からのスローガンの変遷を見ると学校がこれまでに積み重ねてきたことがわかる。来年度もさらなる進化を期待したい。(岡本委員)
- ・学校スローガンが生徒の中にも大切なキーワードとして浸透しているのは非常によいことだと思う。(北委員)

→委員から出た意見を受け、積志中学校のさらなるステップアップのために具体的な手立てを考えていきたい。(校長)

協議の結果、全員異議なく、これを承認した。

(3) 来年度の学校運営協議会の取組について

岡本委員から、来年度の学校運営協議会の取組について説明があり、それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・今年度を実施した取組については、いくつか課題が出てきたので、その部分の改善を図ってよりよい取組にしていきたい。(岡本委員)
- ・校区の小学校の学校運営協議会との交流は必要だと思う。(今宿委員、林委員)
- ・小学校の学校運営協議会と情報交換を行い、連携を図ることができれば、各々が行っている取組をさらに発展させることができるかもしれない。(岡本委員)
- ・部活動の地域移行を考えていく際には、小学生とその保護者のニーズを知ることが重要である。議論をするためには、そこへの調査も行っていく必要があるのではないかと。(岡本委員)
- ・部活動の地域移行について考えていくことはとても大変なことだと思う。今年度の実施した休日の部活動指導に参加可能な人材の調査に回答してくれた方とも意見を聞きながら、部活動の地域移行の話をしたい。また、現在、部活動を指導している先生の意見も聞きたい。(今宿委員)
- ・防災を通して地域と中学生をつなげていくような取組はとても大切だと思う。自分も災害ボランティアコーディネーターとして積極的に関わっていきたい。(三輪委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 今年度の学校運営協議会の自己評価

議長より、自己評価表にある各評価項目について委員に対して意見を求めた。それらの意見をまとめる形で、積志中学校学校運営協議会の総意として以下のような自己評価を行った。

○評価項目1：学校運営の基本方針について熟議することができたか。

第4回学校運営協議会では、令和6年度の学校運営の基本方針の説明を受けた後、熟議の冒

頭で中学生の地域での様子、学校生活の様子などについて情報交換しながら、積志中の生徒の実態と課題、これからの学校教育に期待することなどについて委員間で共有することができた。それに対して、校長が学校経営の柱として掲げる「3つの充実（授業、集団活動、体験活動）」は、非常に有効な手立てであるという意見が多く委員から出された。また、校長が掲げる学校スローガンに対しても、「令和2年度からここまで積み上げてきた成果が見えるだけでなく、学校の目指す方向性が生徒の中にも浸透してきていることは生徒の姿から感じることができるので、次年度もさらなるステップアップを期待したい」という意見が委員から出された。それらの意見に対して校長から「さらなるステップアップのために具体的な手立てを考えていく」という回答を受け、次年度の学校運営の基本方針を承認した。

以上のことから、学校運営協議会として、学校運営の基本方針について十分な熟議をおこなうことができたと考える。

○評価項目2：承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

昨年度の学校運営協議会の中で計画された「学習支援」「学校行事への支援」の取組は、校長が基本方針の中で掲げる「3つの充実」のうち、「授業の充実」「集団活動の充実」につながる取組として位置付け、熟議を通して具体化を図った。その結果、取組を実現させることができ、積志中学校運営協議会としても大きな一歩を踏み出せたと感じている。

以上のことから、学校運営協議会として、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて十分な熟議を行うことができたと考える。

○評価項目3：協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校運営協議会の取組について情報発信するために、今年度はCSだよりを4回発行し、学校HPに掲載した。しかし、CSだよりの存在に対する周知が十分ではないことがわかったので、周知を図る方法については今後の課題と考える。また、今年度行った具体的な取組については、地域の回覧板やさくら連絡網を活用したり、告知用のポスターを作成して協働センターや校区の高等学校、大学に掲示したりしたことで、多くの反響と協力を得ることができ、取組の実現につながった。それについては十分な情報発信ができたと考える。

○評価項目4：今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

昨年度に計画した取組を具体化させていくことを今年度の目標としていた。いずれの取組についても熟議を重ねていく中で、具体化を図って実現し、大きな成果を得ることができたため、目標をおおむね達成することができたことと捉えている。しかし、これらの取組を場当たりのなものではなく、地域に広く浸透し、今後も継続的に行われるようなものにしていくことが重要であると考え。そして、今年度の取組を通して、地域と学校、地域と中学生をどうつなげていくのかという視点をもつことが大切であると感じた。そこで、次年度は今年度の取組で表面化した課題に対する改善を図り、よりよい取組へとさらに発展させていくことを目指したい。さらに、地域と中学生をつなげるために「防災」という視点での取組を計画したり、「部活動の地域移行」に関する取組を今年度よりさらに前進させたりすることを考えている。また、校区内の他の協議会と交流する場を設定し、互いの取組を共有するだけでなく、協働する方法も探していきたいと考えている。

積志中学校運営協議会としては、来年度以降も取組を一つずつ着実に具現化していき、地域が学校を支える土台をつくることを目指して、地域への積極的な情報発信、学校と地域がより密接に連携するための体制づくりをしていきたいと考える。

協議の結果、全員異議なく、これを承認した。

(5) その他

○夢育やらまいかCS加算分について

教頭から、夢育やらまいかCS加算分については、未来授業、生き方授業の講師謝礼として遣った旨の報告があった。協議の結果、全員異議なく、これを承認した。

○通学路整備要望調査の結果

教頭から、通学路整備要望調査で報告した学校西側道路については、周辺の住民の車の出入りや歩道の柵があるため、現状を維持するという旨の回答があったという報告があった。来年度は近隣の自治会とも連絡を取り合いながら必要に応じて要望を出していく旨の説明があった。

○その他報告事項等

- ・学校運営協議会委員に対して、積志中学校の卒業証書授与式、入学式への出席を依頼する旨の連絡があった。
- ・鈴木委員から、今年度末をもって学校運営協議会の委員を辞するという旨の報告があった。